

細谷小学校地域協議会だより

令和6年度 第2号

発行日：令和7年3月吉日

発行者：細谷小地域協議会事務局

日増しに暖かさを感じる今日このごろ、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、計画通り進めてまいりました地域協議会の活動も、2月に実施しました第4回会議をもってひと区切りとなりました。今年度も、地域の皆様には学校における各種ボランティアへのご協力をはじめとして、地域協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。来年度も、さらなる充実を図るべく進めてまいります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の会議

第3回会議（11月5日）

第3回会議では、各学級の授業参観をしたり、給食の試食をしたりしました。その後、アンケート評価を行いました。委員の皆さんから「先生方の板書の字がきれいで見やすく工夫されていた」「どの授業も一人一人が楽しく参加できているようで、とても活気があった」「教室の掲示物もたくさんあって、一人一人のクラスの役割があるように感じた」「学校の照明が暗い感じがした」「本とデジタルの両方活用されるとよい」

「給食が食材の味を感じることができ、おいしかった」「給食配膳の様子から安全面を考え、どの学年も教員が必ず一緒に配膳台を押していて安心した」などの意見が出されました。

第4回会議（2月6日）

地域協議会の役割の一つに、「学校運営について意見を述べること」があります。宇都宮市の小中学校では、学校経営の状況について「学校マネジメント学校評価書」に基づいた学校評価を毎年行っています。第4回会議では、学校評価のために行ったアンケートの結果をもとに意見交換をしました。

【委員から出された意見】

- ・10年程、旗当番をやっているが、最初の頃よりずっとあいさつをする子が増えたと感じる。
- ・AI関連の世の進歩の驚きのスピードと昔ながらのゆったりと進む日々の生活との間には、大きな落差があり、それが広がってきている。児童の感性も大いに影響を受けていて、多様な感覚、ズレを感じやすいところが生まれコントロールが難しくなっている。
- ・子育てについて親学が必要だと思う。
- ・今年度の達成状況、評価を踏まえた「次年度の方針」「主な具体的な取組」が掲げられている。
- ・児童の教育活動の支援となるよう学校支援ボランティアを募集・活用していく。
- ・保護者の評価が低い箇所は、子供たちと向き合う時間が少ないからではないか？



（授業参観の様子）



（給食試食会の様子）



（この日の給食メニュー）

これまでの活動から

○稲刈り

食農体験学習の一環として行っている稲刈り。2年生と5年生が体験しました。多くのボランティアの方にお手伝いしていただきました。聾学校の児童とも一緒に稲刈りを行い、交流しました。



○ひまわりクラブの活動

子供たちが夏休み明けに持参した絵や工作、読書感想文などを、コンクールごとに仕分けしたり目録を作成したりしていただきました。また、家庭科の授業において、ミシンの補助作業をしていただきました。



○コスモス会の読み語り

朝の時間は教室で子供たちを目の前にして、給食の時間には放送室からいろいろなお話を読み語りしていただきました。



○登下校安全ボランティア

毎朝、子供たちの登校を見守ってくれています。



○人権に関する標語 看板をつくりました

学校の人権週間に協賛し、人権に関する標語の看板を製作しました。西門に設置しましたので、ご覧ください。



お知らせ

○おめでとうございます！

地域協議会副会長 野中 信夫様が民生委員として長年勤めれたことが評価され、令和6年度の藍綬表彰を授与されました。



